

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年12月14日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675800090
法人名	社会福祉法人 昭芳会
事業所名	グループホーム 芳明庵
所在地	鹿児島県始良郡湧水町般若時358番地 (電話) 0995-75-4622
自己評価作成日	平成26年11月1日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年12月4日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな環境の中で温泉に恵まれた環境である。事業所のお風呂は温泉が楽しめる。隣接している養護老人ホームやデイサービスなどと協力体制にあり、職員も積極的に研修に参加する機会がある。資格取得にも法人全体で取り組むなど職員の質の向上に取り組んでいる。利用者は全個室にトイレや洗面所が設置している。遠方の家族も宿泊で来る十分なスペースが確保されている。玄関入り口や居室は日中は鍵がされていない開放的であり、面会の家族も気軽に立ち寄れる環境がある。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

辺りを山々や田畑に囲まれたのどかな地に建てられた2ユニットからなるグループホームである。同敷地内には特別養護老人ホームやデイサービスなど系列の施設が併設されており、共同の避難訓練を行うなど、非常災害時の協力体制や連携が取れている。デイサービス利用者で友人、知人が立ち寄ることもあり、馴染みの関係の継続支援にも繋がっている。法人全体の基本理念を根幹に置き、毎年テーマを設けた目標を掲げており今年度の「美」については、身だしなみや清潔保持に力をいれ、職員は一丸となり日々のケアに反映できるように取り組んでいる。トイレでの排泄の自立にも力をいれており、再三の声掛けで利用者が不快な思いをしないように排泄チェック表での個別パターンやサインの把握で適時の誘導や声掛けを行っており、改善例も多くあり、利用者の自信や誇りの保持に繋がっている。利用者の自由な生活に寄り添う日々のケアに対して生きがいや、やりがいを口にする職員の姿勢はサービスの質の向上に繋がっている事が伺われ、家族アンケートの多数の感謝の声からもそれが伝わってくる。立地的に地域との交流は限られてはいるが、隣接のデイサービスの利用者や踊りなどのボランティアとの交流を積極的に行い、地域の中学生の体験学習やサマーボランティアの子供達との触れ合いも利用者の楽しみになっている。自然が豊かな環境で温泉浴も楽しみながら、利用者は我が家のように、ゆったり安心して暮らせるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホーム玄関に色紙に書いて表示してある。職員に入職時は理念について説明を行っている。申し送り時に理念について話し合い、確認を行っている	法人全体の理念を根幹に毎年テーマを設け、今年度は「美」についてを掲げ、身だしなみや清潔保持について職員は援助会議や研修を重ね日々ケアへの反映に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町外の区分であるため、地域と日常的な関わりは無いが買い物や地域の特産物を購入してつながりを持っている。地域の職場体験学習の受け入れを行っている	地域の運動会や相撲大会の見学に出掛けたり、併設のディサービスも地域との交流のパイプと捉え、利用者同士や行事を通したボランティアとの交流も大切にしている。体験学習の子供達との触れ合いも楽しみになっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議を通して委員の方に認知症の理解を促して事業所の行事に参加していただいている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年間5～6回開催している	行政、家族、地域住民などの関係者の参加を得て、定期的に行われている。年間計画の議題に沿って地域、ホームの現情報報告を行い、出された意見やアドバイスをサービスの向上に繋げている。気軽に話し合える雰囲気づくりから会議が有意義な時間になる工夫もしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会に参加を行い、利用者の状況や事業所の取り組みを報告している	運営推進会議への参加もあり、ホームの現状の把握や事故報告などの手続きなど、折にふれ連携を取り情報の共有や協力体制が出来ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的には身体拘束委員会を開催している。日頃より玄関や居室には鍵をかけていない。開放的な環境の基で生活を行っている	2カ月に一度、身体拘束委員会を開催し、マニュアルを基本に「援助日誌」などを下に、日常の利用者状況の確認と対応を把握し、夜勤者、日勤者の申し送りを密に採り見守りの強化に努めている。言葉に依る拘束の弊害についても研修や、現場での気付きを注意し合い、その都度学習し、職員は身体拘束に関する意識や知識を高く持ってケアに当たっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待の研修会に参加して日頃より話し合う機会がある。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護の研修会に参加して報告する研修会報告を行い、職員の周知に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に時間をかけて利用者や家族に説明を行っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎月「芳明庵便り」を発行し、同時に家族に近況報告を行っている。面会時に意見を聞いたりしている</p>	<p>面会時や行事参加の機会に家族からの意見や要望の聞き取りをしている。意見や要望など家族とのやり取りは援助日誌に記録し、職員間で情報の共有を図り、サービスの改善へ繋げている。毎月の便りには担当職員より、利用者の日常生活の様子を分かり易く書いた手書きのメモを添えており、家族より感謝の声がある。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>法人全体の朝礼や週1回の昼礼は理事長も参加して運営の状況や意見を話す機会がある</p>	<p>2カ月毎に、ユニット毎や全体の会議を行い週1回の昼礼では理事長も参加して、運営上の状況報告などを行っている。職員は意見や要望は管理者にも言い易い雰囲気があり、改善へ繋げている。利用者の受診時の人員配置も2ユニット間で協力し合い、応援体制も採られている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>年2回、職員が自分の目標を決めて自己評価を行ったことが賞与に反映している。研修に参加する機会はすべての職員にある</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人研修や関連医療施設や他の法人と交換研修を行うなど研修する機会が多い</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に所属して交流会やネットワーク作りがある。各支部の勉強会には出来る限り参加するように努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に見学していただくなど開始について相談出来る様になっている。又、入居時に「本人や家族の不安なこと」は書面でも記録出来る様になっている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族や本人からや担当ケアマネジャーから情報を収集している。入居申込書にも記録するようになっている		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	医療と福祉の連携を行っている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「利用者中心のケア」「利用者の立場にたって考える」など開園当初より心がけている。日常的には常に寄り添って関係を築いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人のニーズを家族と一緒に考えて家族の協力の基、支援出来る様にしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来る限りなじみの美容室など送迎を行っている。併設のデイサービスを利用して面会に来られたり関係を保てるようにしている	併設のデイサービスの友人が訪問したり、家族と墓参りに出かける利用者もいる。携帯電話を持ち、自由に家族との会話を楽しんだりして個々の馴染みの関係継続支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングや食堂などの共有スペースの環境整備を行っている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時に「芳明庵便り」の発行を希望する方に配布したりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に家族や本人から聞いた情報を得て、職員は本人の立場になって考えるようにしている	言葉での意思表示が難しい利用者に対しては、表情や所作の他、「まるごとシート」の活用で希望や思いの汲み取りに努め、職員は情報を共有し本人本位な支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活暦を記入するシートを利用してサービスに反映している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアマネージャーから情報を得ている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画者の一緒に介護しているので日頃から課題に対して話合う機会がある	介護計画は、本人、家族の意向や希望を踏まえ、援助日誌等の記録や職員間の気付きや課題を話し合い、利用者主体のその人らしく暮らせる支援を取り入れて作成している。6ヶ月毎の見直しではあるが、状態変化の都度見直しをし、現状に即した介護計画になる様に努めている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	記録は毎日記入している。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	法人内で課題について考えたり取り組んだりする機会がある		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	運営推進会議で資源の情報がある。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	かかりつけ医が協力して連携を蜜にしている	希望の掛りつけ医の継続や入居時にホームの協力医に変更する利用者もいる。毎日、訪問診療が受けられることもあり、体調変化では血液検査などの素早い対応で受診に繋がるケースもあり、日常的に利用者の健康管理が徹底されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	医療と連携できる機会を持って早期対応が出来る様にしている		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院時は情報提供を行ったり面会に行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居時に終末期のあり方を話す機会を持ったり、状況によって主治医と話す機会を持ってニーズに添った対応が出来る様にしている	入居時に重度化や終末期の在り方について、ホームで出来る最大限の支援内容や医療を伴う対応についてのホームの方針を詳しく説明をして家族も納得をしている。看取りのマニュアルも作成し研修も行うなど、ホームで出来る最大限の看取り介護に取り組んでいる。今後は、ホームの明確な指針の作成をし、家族の同意を得る事も視野に入れていく方向である。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時の対応を勉強する機会があり、職員間の会議でも連絡方法など話し合っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	年に2回、併設の施設と協力している。	ホームや地域の火災など、あらゆる場面も想定して昼夜間想定の実施状況を年に2回行っている。毛布を使用した搬送や避難場所となる駐車場への誘導など、具体的な訓練になっており、法人合同で行う事で、連携や協力体制を築いている。備蓄や備品に寒さ対策の毛布なども準備してある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室は個室でトイレ・洗面所があり、プライバシーは保たれている。又、職員の言葉かけも人格を尊重している	居室にトイレが完備されていることからプライバシーの確保ができた環境にある。共同トイレは2人介助時の使用であるが、声掛けや誘導には最善の配慮をしている。職員は援助会で自己のケアの振り返りを行って人格の尊重を重んじたケアが出来ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者中心のケアを心がけて利用者の言いたいことがいえる環境を整えている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個人のペースを知って大切にその人らしい生活が出来る様に支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	生活暦から得る情報で身だしなみやおしゃれが出来る様に支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みの物を取り入れた食事を準備したり残存機能を生かした食事の準備や片づけを一緒に行っている	田植えの豊作を願った弁当作りや、ホームの中庭で秋刀魚を焼いたり、サツマイモの天ぷらなど家庭の普通の暮らしを中心とした料理を提供し、利用者も食べるだけでなく調理に参加して張り合いややりがいを感じている。行事食や誕生日のプレゼントも楽しみになっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量を記録して日常的に健康管理を行い、医療機関と連携して定期的な検査受診を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人の尊厳を重視して出来る限り口腔ケアを行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握・検討して日中はトイレで排泄出来る様に取り組んでいる	排泄パターンを記録したチェック表の活用で適時の声掛けと誘導でトイレでの自立排泄に努めており改善につながった利用者もいる。動きの無い座位の利用者にも再々の声掛けで不快な思いをしない様さり気無い誘導を心掛けている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量の把握と食事にも取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	温泉である。身体的に一般的な浴槽が利用できない方にも入浴出来る様に器具を整えている	温泉を楽しめる環境にあり、利用者は入浴前にお茶を飲んで水分補給をし、くつろいだ気分でゆっくり時間をかけ入浴を楽しんでおり、季節に応じゆず湯などで季節感を出す工夫もしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個室であるので気兼ねなく休息できる		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服薬説明書をファイルして何時でも確認できる		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	残存機能を生かした取り組みや食事の手伝い・洗濯物畳などそれぞれに応じた役割を行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節に応じた花見や外出を経過している	菜の花やコスモスなどの花見をはじめ、家族参加のソーメン流しなど四季を通して年間計画を組んで外出の機会を多く作っている。近隣の公園への散歩やドライブ、病院受診を利用するなどし、折に触れホームの外に出る機会を多く持てるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人と家族の話し合いによってお小遣いを持っている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>事業所の電話は利用者が利用出来る様になっている。又、家族と本人が協議して携帯電話を持っている利用者もいる。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間は落ち着いた雰囲気を作れるように工夫している。季節に応じたしつらえを整えている</p>	<p>ホール内は和を基調としており、手作りの暖簾や壁掛けは落ち着きを感じ取れる。食堂ではキッチンの調理の臭いやガラス越しに庭の植物から四季をかんじ取れ生活感がある。感染症対策を重視し、空気清浄器や加湿器を備え、手足の冷え防止に足乗せ台を用意するなどの工夫が見られ、ソファや椅子を適所に置き利用者が自由でゆったりとくつろげる共用空間になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングに椅子やソファを準備して自由に過ごせるようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に本人・家族と相談して馴染みのタンスや置物を持ってきて本人が落ち着いた環境で生活出来る様に支援している	洗面所とトイレが備わっている事で排泄時のプライバシーの確保が出来ている。テレビやソファの他、日記を書く机を用意したり、位牌を置いて安心するなど、個々に応じたプライベート空間になっている。感染症対策に室内の湿度にも配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室や建物内外の環境整備は法人全体で取り組んでいる。改善するところは検討会を開いてすぐに対応している		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない